

分子医科薬理学講座

Molecular and Medical Pharmacology

教 授	服部 裕一	Yuichi Hattori
准教授	横尾 宏毅	Hiroki Yokoo
助 教	山崎 弘美	Hiromi Yamazaki
助 教	山本 誠士	Seiji Yamamoto

◆ 著 書

- 1) 服部裕一：育毛剤、「安全性薬理試験マニュアル」安東賢太郎，橋本敬太郎，藤森觀之助編，276-282，エル・アイ・シー，東京，2009.

◆ 原 著

- 1) Matsuda N., Yamamoto S., Takano K., Kageyama S., Kurobe Y., Yoshihara Y., Takano Y., and Hattori Y.: Silencing of fas-associated death domain protects mice from septic lung inflammation and apoptosis. Am. J. Respir. Crit. Care Med., 179: 806-815, 2009.
- 2) Yamazaki H., Ohi Y., Haji A.: Mu-opioid and N-methyl-D-aspartate receptors are localized at laryngeal motoneurons of guinea pigs. Biol. Pharm. Bull., 32: 293-296, 2009.
- 3) Hatakeyama N., Sakuraya F., Matsuda N., Kimura J., Kinoshita H., Kemmotsu O., Yamazaki M., and Hattori Y.: Pharmacological significance of the blocking action of the intravenous general anesthetic propofol on the slow component of cardiac delayed rectifier K^+ current. J. Pharmacol. Sci., 110: 334-343, 2009.
- 4) Matsuda N., Yamamoto S., Yokoo H., Tobe K., and Hattori Y.: Nuclear factor-kappaB decoy oligodeoxynucleotides ameliorate impaired glucose tolerance and insulin resistance in mice with cecal ligation and puncture-induced sepsis. Crit. Care Med. 37: 2791-2799, 2009.

◆ 総 説

- 1) 松田直之，山本誠士，寺前洋生，高野健一，別府 賢，山崎弘美，横尾宏毅，畠山 登，小池 薫，服部裕一：肺血症性ショックにおけるアポトーシスの治療. 日本薬理学雑誌, 134: 198-201. 2009.

◆ 学会報告

- 1) Matsuda N., Hattori Y., Yamamoto S., Yamazaki H., Koike K.: Impact of transcription factor decoy to AP-1 on the Lung apoptosis of septic mice. Society of Critical Care Medicine 38th Critical Care Congress, 2009, 1, 31-2, 4, Nashville, USA.
- 2) Matsuda N., Hattori Y., Hatakeyama N., Koike K.: Acute lung inflammation induced by blood stream infection of candida glabrata in mice. Society of Critical Care Medicine 38th Critical Care Congress, 2009, 1, 31-2, 4, Nashville, USA.
- 3) Matsuda N., Hattori Y., Hatakeyama N., Koike K.: Fluid resuscitation in rabbits with endotoxemic shock. Impact on regulation of NF- κ B activation and production of inflammatory molecules. Society of Critical Care Medicine 38th Critical Care Congress, 2009, 1, 31-2, 4, Nashville, USA.
- 4) Hatakeyama N., Matsuda N., Yamamoto S., Aoki Y., Hattori Y., Yamazaki M.: Involvement of Ca^{2+} and Na^+ Channels in the mechanism of tachyarrhythmia in septic guinea pig atrium. Society of Critical Care Medicine 38th Critical Care Congress, 2009, 1, 31-2, 4, Nashville, USA.
- 5) Yamamoto S.: Vascular mural cells are potentially derived from the circulating myeloid progenitors. The 1st Toyama University-Chungnam National University Joint International Symposium, 2009, 2, 5-7, Daejeon, Korea.
- 6) 松田直之，服部裕一：敗血症病態におけるアポトーシスの治療. シンポジウム「アポトーシス関連分子を標的とした疾病治療に向けて」. 第82回日本薬理学会年会, 2009, 3, 16-18, 横浜.
- 7) 浦壁聰美，山本誠士，高野健一，横尾宏毅，生谷尚士，長井良憲，高津聖志，服部裕一：卵黄嚢由来前駆細胞はセルクラスターを形成し血管形成能を有する. 第82回日本薬理学会年会, 2009, 3, 16-18, 横浜.
- 8) 高野健一*, 富田賢吾，山本誠士，横尾宏毅，高野康雄，服部裕一：マウス多菌性敗血症モデルにおいて，ピタバスタチンは肺炎症を軽減させ生存予後を改善する. 第82回日本薬理学会年会, 2009, 3, 16-18, 横浜.

- 9) 山本誠士, 村松 昌, 大澤 肅, 高橋宏行, 高野健一, 浦壁聰美, 新飯田俊平, 濵谷正史, 松田直之, 服部裕一: CD31⁺F4/80⁺CD45⁺細胞は中枢神経系の血管発生に関与する. 第 82 回日本薬理学会年会, 2009, 3, 16-18, 横浜.
- 10) 横尾宏毅, 富田賢吾, Wu Qiang, 高野健一, 山本誠士, 薄井 熊, 山崎弘美, 戸邊一之, 服部裕一: 多菌性敗血症マウスモデルにおいて, 中枢インスリンシングナル機構は増大している. 第 82 回日本薬理学会年会, 2009, 3, 16-18, 横浜.
- 11) 服部裕一, 松田直之: 敗血症性ショックと内皮由来および誘発性 NO 合成酵素: スタチンによる治療効果との関連. シンポジウム「血管弛緩機構の異常に基づく疾患と薬物作用」. 日本薬学会第 129 年会, 2009, 3, 26-28, 京都.
- 12) 服部裕一: 教育講演「血管内皮細胞機能に及ぼす放射線照射の影響」. 第 48 回日本医学放射線学会生物部会学術大会・第 39 回放射線による制癌シンポジウム, 2009, 7, 10, 富山.
- 13) 山本誠士, 村松 昌, 大澤 肅, 高橋宏行, 高野健一, 生谷尚士, 長井良憲, 高津聖志, 薄井 熊, 戸邊一之, 新飯田俊平, 濵谷正史, 松田直之, 服部裕一: ペリサイト前駆細胞は中枢神経発生期に脳微小血管ヘリクルートされる. 第 51 回日本平滑筋学会総会, 2009, 7, 21-23, 名古屋.
- 14) 山本誠士, 村松 昌, 大澤 肅, 高橋宏行, 高野健一, 生谷尚士, 長井良憲, 高津聖志, 薄井 熊, 戸邊一之, 新飯田俊平, 濵谷正史, 松田直之, 服部裕一: Myeloid 系細胞形成不全マウスを用いたペリサイト前駆細胞の発生学的検討および発現遺伝子解析. 第 60 回日本薬理学会北部会, 2009, 9, 26, 富山.
- 15) 高野健一*, 富田賢吾, 山本誠士, 山崎弘美, 横尾宏毅, 高野康雄, 服部裕一: マウス敗血症性急性肺損傷におけるピタバスタチンの抗炎症作用とそのメカニズム. 第 60 回日本薬理学会北部会, 2009, 9, 26, 富山.
- 16) 山本誠士, 村松 昌, 大澤 肅, 高橋宏行, 高野健一, 生谷尚士, 長井良憲, 高津聖志, 薄井 熊, 戸邊一之, 新飯田俊平, 濵谷正史, 松田直之, 服部裕一: Macrophage 形成不全マウスおよび time lapse imaging を用いたペリサイト前駆細胞の発生学的検討. 第 17 回日本血管生物医学会, 2009, 10, 8-9, 東京.
- 17) 村松 昌, 山本誠士, 大澤 肅, 濵谷正史: 骨髄由来マクロファージ系細胞は Flt-1 のチロシンキナーゼシグナルを介して固形腫瘍の増殖及び腫瘍血管新生を促進する. 第 17 回日本血管生物医学会, 2009, 10, 8-9, 東京.
- 18) 富田賢吾*, 高野健一, 山本誠士, 横尾宏毅, 松田直之, 畠山 登, 山崎光章, 服部裕一: 多菌性敗血症マウスモデルでの心筋リモデリング関連分子の変化に対する pitavastatin の治療効果. 第 19 回日本循環薬理学会, 2009, 11, 27, 京都.
- 19) 山本誠士, 村松 昌, 大澤 肅, 高橋宏行, 東英梨月, 堂本光子, 高野健一, 生谷尚士, 長井良憲, 高津聖志, 薄井 熊, 戸邊一之, 新飯田俊平, 濵谷正史, 松田直之, 服部裕一: 中枢神経発生期におけるペリサイト前駆細胞の脳微小血管網へのリクルートメント. 第 19 回日本循環薬理学会, 2009, 11, 27, 京都.
- 20) 山本誠士, 村松 昌, Bon-nyeo Koo, 向山洋介, 喜多紗斗美, 岩本隆宏, 東英梨月, 堂本光子, 渡邊泰秀, 小室一成, 大澤 肅, 高橋宏行, 高野健一, 生谷尚士, 長井良憲, 高津聖志, 薄井 熊, 戸邊一之, 新飯田俊平, 濵谷正史, 松田直之, 服部裕一: 脳微小血管網を構成するペリサイトは造血系細胞由来である. 第 32 回日本分子生物学会年会, 2009, 12, 9-12, 横浜.
- 21) 東英梨月, 山本誠士, 堂本光子, 服部裕一: マウス創傷治癒モデルにおける血管新生因子の解析. 第 32 回日本分子生物学会年会, 2009, 12, 9-12, 横浜.